

名称  
募集中

大阪きづがわ医療福祉生活協同組合

〒556-0024 大阪市浪速区塩草2-2-31 なにわ会館3F  
TEL: 06-4394-8500 FAX: 06-4394-8505

# 新機関紙

2012 5  
Vol. 002

発行責任者・別所 義正

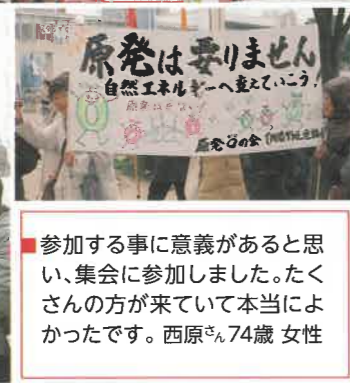
東日本大震災から一年

## 被災地の 人々に 心寄せて

大阪きづがわ医療福祉生協  
で原発ゼロの会・大阪主催の  
「なくそう原発3・11府民集  
会」に参加してきました。

3月11日、東日本大震災からちよ  
うど1年が経った日に8000人を  
超す人が扇町公園に集まりました。  
大阪きづがわ医療福祉生協の組合員  
や職員もそれぞれの思いを胸に参加  
しました。メインスローガンである  
「原発をなくせ！自然エネルギーへ  
転換！」の訴えが行われ、福島農民  
連の方の切実な訴えもありました。  
「いくら時間がかかっても福島を再  
生させたい」と表明されたことに、  
大きな拍手がわきました。地震が起  
きた14時46分、参加者全員で黙祷を  
行いました。その後、参加者みんな  
で扇町公園から中崎町まで「なくそ  
う原発」を訴えながらデモ行進を行  
いました。

3月11日 「なくそう原発3・11府民集会」



■ 参加する事に意義があると思  
い、集会に参加しました。たく  
さんの方が来ていて本当によ  
かったです。西原さん74歳 女性

■ 天候の悪い日でしたが、8000  
人もの方たちが集まりとても  
元気が出ました。震災の事は  
忘れてはいけな、発信して  
いかないと強くなりました。森田さん66歳 女性



■ 家族4人で集会に行けた事を  
とても嬉しく思います。福島  
の方のお話を聞いて、自分達  
も、何とか福島の再生がで  
きるように努力したいと思います。竹中さん32歳 男性

■ パレードは中崎町まで行きましたが、なかなか到着しなく寒さで大変  
でした。初めてのシュプレヒコールで声をあげることができなかった  
ことを反省しています。また、泉南アスベスト被害者の方に署名して  
いる時に苦労話を聞かせて頂き勉強になりました。浅野さん49歳 男性



## 名称募集!

大阪きづがわ医療福祉生活協同組合の  
新しい機関紙をお届けします。

この新しい機関紙の名称を募集中です。  
たくさんのご応募、お待ちしております!

1万円分の  
図書カード  
プレゼント!

3法人の旧機関紙名は  
港「お元ですか」  
大正「えがお」  
西成「さわやか」でした。

募集!

- 賞品 名称採用者の中から2名に  
10,000円分の図書カードをプレゼント  
(採用者が多数の場合は抽選)
- 応募方法 下記の郵便・FAX・メールにてご応募ください
- 締切 5月31日(木)必着
- 発表 総代会および本紙7月号

## 作品募集!

総額10万円の  
商品券が当たる

### 合併記念コンクール

大阪きづがわ医療福祉生活協同組合の誕生を  
記念して、合併記念コンクールを開催します。  
みなさんの作品をどんどん送ってください。

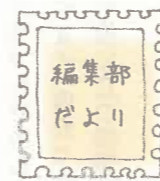
テーマ「医療福祉生協を感じたとき」  
部門 絵画・書道・写真・俳句・川柳  
※各部門ごとに応募者お一人様へ図書カードをプレゼント!

- 賞品 特選1名: 30,000円の商品券  
入選2名: 20,000円の商品券  
佳作3名: 10,000円の商品券
- 応募方法 写真はA4サイズ(画像データを下記メールへ送信も可)  
※応募作品は返却できません。
- 締切 5月31日(木)必着
- 発表 総代会および本紙7月号

すべての方に  
500円分の  
図書カード  
プレゼント!

大阪きづがわ医療福祉生活協同組合 本部事務局  
〒556-0024 大阪市浪速区塩草2-2-31 なにわ会館3F  
FAX: 06-4394-8505 e-mail: kizugawa-coop@chorus.ocn.ne.jp

機関紙名称 ▶ 機関紙係  
合併記念コンクール ▶ コンクール係



新機関紙の創刊号が発行されまし  
た。内容は如何でしたか。何か一寸  
違和感があるなどか、このように変  
えたらよいのではないかな等のご意見  
を持った方もおられたかと思ひます。人は従来のもの  
とは異なるものに遭遇したとき新鮮さを感じると  
ともに改善点についても鋭敏になっているものなの  
です。是非改善点についてのご意見をお寄せいただき、  
素晴らしい機関紙を作り上げていって欲しいと思ひ  
ます。併せて、新しく出発した新法人にふさわ  
しい機関紙の名称もお寄せ下さい。 中原 誠



8000人を超える参加者

2012年3月11日/あれから1年。  
私たちの思いは、被災地の復興。そして、原発からの撤退!!

002  
今月号  
の表紙

お知らせ

組合員証が  
新しくなりました!



初回の発行は無料  
各エリア事務所に  
お問い合わせ下さい

組合員証がいままでの紙のものから免許  
証サイズのカードになりました。  
出資金の残高記載も可能です。出資残高  
記載が可能になった事で、あわせて4月  
1日より出資証券の発行は行わなくなり  
ました。

※今までの証券については有効です。今後、変更が  
ありましたらご案内をさせていただきます。

# 一人ひとりを大切に、 仲間の「わ」を大きく強く



## 大阪きづがわ医療福祉生活協同組合

始動!!

4月1日(日)・スタート集会・開催

スタート集会に150名が参加

4月1日、日曜日大阪民医連で、大阪きづがわ医療福祉生活協同組合のスタート集会が150名の役員が集まって開催されました。蒲生理事長の開会の挨拶、来賓の是枝大阪民医連次長挨拶と続き、合併にいたる経過、12年度の課題など基調報告を奥事務が話しました。紆余曲折がありました。11年8月から合併推進協議会設立後はこの日に向けて役員員の奮闘などで順調にきました。全国的に医療福祉生活協同組合の名称をつけたのは、三番目だそうです。組合員2万人を超える大きな規模の組織になりました。大きくなっても一人一人の組合員さんを大切に、仲間の「わ」を大きく強くつないでいきます。



人ごみではない私達の暮らして

記念講演 神戸大学名誉教授 二宮厚美先生  
「新しい福祉国家の道…社会保障・税一体改革に抗して」のお話が引き続きありました。社会保障費を消費税にたよると、負担が少ないと保障が少なくなる、保障を大きくするには

大阪市は今、全国から注目されています。講演では現市長の方向性や市民に向けられている課題など私達の暮らしに直接関わる内容を交え、政治は人ごとではなく自身のこととして考える事をメッセージに、大阪きづがわ医療福祉生協への「期待」と共に記念講演は幕を閉じました。



講師 神戸大学名誉教授 二宮厚美先生

「日本は先進国の中で  
もっとも格差の大きい国」



坂総合病院 福岡真哉事務長

参加感想 倉澤所長の挨拶があり、「まやさん」と思い込み、どんなすてきな女性が電話口に出てくるのかと思ったら、男性の声であったと、ユーモアたっぷりの紹介で場が和んだところで福岡さんのお話が始まりました。年5回災害訓練をしているそうですが、たまたま3月10日に訓練したところだったのでその訓練がそのまま役に立ちました。全職員が「ここが、命の砦」という自覚を持って一丸となって働き、職員から、仲間意識に変わったことに感動しました。大正エリア・渡口 差知子

## 「坂」がやらなければ、どこがやる 「いのちを守る、地域を守る」という強い決意で

4月14日、みなと診療所4階で学習会を開きました。職員、組合員さんなど50名がお話を聞きました。

3月11日 2時46分

地域に根ざして100年  
坂総合病院は1912年に私立塩竈病院として設立しました。設立に多くの人の寄付が集まりました、有名な造り酒屋さんのお金持ちからも、お金の無い人たちは労働として参加したそうで、記念碑には大工人夫寄付と地名と人数があります、その当時から地域に根ざした病院だったのです。

震災当初は職員の家族と連絡がとれない、状況もわからない、外の状況もわからない、他のスタッフの安否も不明そんな中でも医療活動をすすめていきました。病院も被害を受けています。水は井戸水がありましたが、全てのインフラが遮断され、医療活動には多くの制約を受けます、震災の時も3件の手術中でした。

### 全国の仲間の支援に涙

全国からの支援「もう大丈夫！」震災翌日から民医連の仲間が、多くの職員が涙を。「家族の安否も確認できず不安な中、不眠不休で働いた。震災の翌日から民医連の仲間がかけつけてきた。北海道から沖縄まで次々とやってきた。私達は民医連の仲間を守られている、支えられていると思った。それで頑張れた。」と、

それでも、入院依頼は断らない方針。救急車、自衛隊車両、防災車両、乗用車などで次々と列をなして負傷者などが搬入されて来ます。お薬を求めて、多くの方が行列をなします。ただ何を処方して良いかわからない、お薬手帳があれば、今お医者さんにかかっている方は、ぜひお薬手帳をお手元に。新しい生命も誕生します。妊婦61人、31人が他の施設からの受け入れ、帝王切開もしたそうです。津波に流されて、心停止状態から命を救った。全てを流されてお金も一円もなく、坂病院で衣類まで頂き避難所へ無事退院し、茨城から息子さんを迎えに来ました。

### 求められる支援

ある看護師長。多くの人と支援物資、どんなに職員さん達に励ましと勇気を与えた事か。民医連の友の会、職員共に誇りと感謝を受けました。今大切なことは、仮設に入っている住民同士のコミュニケーションです。孤独死を防ぐためにも、ここに医療生協の班会の経験が生きてくるように、その面での支援が求められています。

### 3.11の現地式典に参加してきました

西成エリア職員 柴山敏 (写真右端)

震災当初から支援に入っている、宮城県山元町。1周年式典に参加し、町の現状を視察してきました。地域訪問では、みなさん、まだまだ進まない復興計画への不安を訴えられました。私たちが訪問をものすごく喜ばれたのが印象的でした。医療生協の「つながり」の力が求められています。大阪きづがわ医療福祉生協として支援を継続していきます。





### ティータイムも楽しみです

最初は「着物のリフォーム」で出発しました。「生地を買ったのは1回だけ」横から突っ込みが入ります、「2回だけ」だそうです。

今は評判を聞いて和服が生き返るので、あちらこちらから善意の着物が寄せられるそうです。

ここは、港区弁天町高層ビルが目の前のお宅で月一回の班会の日です、1時から始まりまず、今日は6人の方がリフォームに励みました、お手も忙しく動きますがお口も弾んでいます。

最高齢は86歳、先生はオーダーメイドの服屋さん30年お商売をしていたそうで、年齢は七十ウン歳だそうです。

みなさんもリフォームしてみませんか？

### 港エリア ● 弁天支部

今回は「着物リフォーム班会」です

## 着物が生きかえる楽しみ

リフォームは鞆にもなりますし、訪問着がステキな洋服に、思い出、愛着のある和服が見事に生まれ変わります。

製図から裁断は先生がしてくれます、あちらこちらから「先生これどうするの」「襟はもう済んだの」と忙しく先生は動き回ります。

生徒さんも負けずにお口が、NHK朝の連ドラから「ドロップショルダー」「なんのこっちゃ」「そう言えば聞いたことのある」次から次へと話題が広がり賑やかに、時間が来るとお茶です。

「これが楽しみ」と手作りのケーキなどを前にしてまたお話が、3時過ぎまでお邪魔してきました。 3月18日 よし・ただし(大正エリア)



## 班会訪問

①



## みんなのひろば

大正エリア ●

港エリア ●

### 健康いきいき体操



西成・港の仲間が体験しました

マットを使ってゆっくりと

3月19日、大正民主診療所で行なわれた「健康いきいき体操」に、西成エリアと港エリアの組合員4名が参加しました。

今回は、床にマットを敷いて横になって行なう体操を中心に一時間ほど行ないました。ラクそうに見えて、実は結構筋肉を使う本格的な内容で、短時間でしたがしっかり体を動かせました。



## みんなとなら楽しく続けられる

参加された方からよかったという声がでていました

「トレーナーの三好さんのゆっくりとした指導で無理のない動きで日頃の運動不足の私はあまり使っていない筋肉をストレッチしたので気持ちよかったです。リンパの流れをよくする体操を教えて頂き、家でも手軽に出来そうです。ひとりでは続くか自信はないですが、集まってみんなで楽しくやれば続けられるでしょう」 (西成エリア・伊藤紀子さん)

「指導がわかりやすくてよかったです。今回は全員女性だったので、もっと男性が増えれば男の人も参加しやすいですね。10年以上続く体操の班会があるのはうらやましいです」 (西成エリア・黒田和子さん)

おしやます

大正健康クラブのメンバーが高齢者住宅ふきのとう(港区)とグループホームしおかぜを訪問



あったかい雰囲気やね

「もうしばらくは元気でいたいけど、いざというときこういう施設があれば安心やわ」と参加者の一人高田さんが言った言葉が、みんなの気持ちをあらわしているようでした。

## こんな施設があれば安心やね

### 合併でふえた利用施設

大正区の組合員さんでつくっている老人会の大正健康クラブのみなさんが港区の高齢者住宅ふきのとうとグループホームしおかぜを訪問しました。両施設とも港区の組合員さんにはもう、おなじみの施設です。

「安心して入れる施設がほしい」と願ってきた大正健康クラブのみなさんにとって、合併によってこれらの施設が自分たちの施設となることは大変な喜びです。「思ったより広いねー」、「みんな表情が穏やかねー」とそのあったかい雰囲気に感心しました。

### 高齢者住宅「ふきのとう」

医療・介護事業が連携して入居者の方々によりそい援助する賃貸住宅です。

医療

リハビリテーション

24時間安心サポート

地域の支援

介護

### 「一日も早く」の強い想い

浪速支部では、西成医療生協の頃から、「はやくデイサービスをつくろう」という組合員さんの声が高く、場所もあり、出資金もお願いできる人もいて、「一日も早く立ちあげてほしい、待っておれない」ということで、4月から生協の組織強化に取り組んでいます。街づくりと一体となった取り組みが求められていることで、班会を毎週一回、月4回開き、大阪きづがわ医療福祉生協が地域に果たす役割を広め、組合員の拡大を強化しようということで頑張っています。

## デイサービス実現をめざして

### 浪速エリア ● 浪速支部

毎週班会で取り組みをすすめています



### 事業所紹介

## 初めまして わかば歯科です

### 大阪きづがわ医療福祉生協唯一の歯科診療所のわかば歯科です。

1986年10月に大正区千島に開設し早や25年、大きくなった法人とたくさん増えた事業所・仲間と色々な面で手を取り合って協力しあえる歯科として活躍できることを願っております。



みなさん一度わかばをのぞきにきてください

『はいしゃさん』はこんな仲間が集まって診療しています！

#### 歯科医師 Dr:Doctor

言わずと知れたお医者さんです。説明は特に必要ないかと思われませんが、わかば歯科では常勤ドクター2名パートドクター2名で、ひと月約800人の患者さんの診療にあたっています。また、患者さん宅へ訪問し在宅療養もおこなっています。

#### 歯科技工士 DT:Dental Technician

虫歯治療をしたあとのかぶせや差し歯、詰め物を造ったり入れ歯の修理をおこなうプロフェッショナルです。かなりこまかい仕事を得意としています。わかば歯科では常勤技工士を2名配置し急な入れ歯の破損の対応や、より良いものを安全な材料で制作することにより患者様に安心安全をとどけています。普段は目につかない奥の部屋にいます。



#### 歯科事務 DS:Dental Staff

患者さんと最初に出会う受付に主にいます。常勤1名とパート3名が日々交代で皆様のお越しをおまちしております。受付では診療をスムーズに行うこと、少しでも患者さんの負担をすくなくできるようにと考え、専門スタッフとのかけ橋に努めております。どんなことでもお気軽にお話ください。



#### わかば歯科

〒551-0003 大阪市大正区千島1-20-12  
TEL 06(6554)8841 FAX 06(6554)8837

#### 職員を代表し...南端所長より一言

『自分の口の中に入れても納得できるようなものしか患者さんの口の中には入れない』をモットーに大正民主歯科診療所としてスタートして25年がたちました。医療に対する情勢は悪くなることはあっても良くなる事はない状況が続いています。患者さんへ最善の医療を提供し続けていくことは容易なことではありません。大きくなった法人で、たくさんの方々を力をおかせ医療をまもり、これからも患者さんのお口の健康を守ってまいります。

### おたよりコーナー



■合併の創刊号に、まちがいさがしの応募をしようと呼びかけて考えました。チョットむずかしかったけど、いねいに探すと見つかった時の喜びは大きかったです。合併によって視野が広がり、ますます医療生協が発達するよう私も微力ですがお手伝いしようと思っております。  
大正区・平安山 町子さん

■玄米食が良いとお友達の勧めでもあきたこまちを産直で30kg購入しました。セシウムが心配と私達の心を映したかのように手紙が「震災の影響であきたこまちが余っています。値下げします」と送料込みで9千円でした。そして秋田県の農協の証明書が同封されていました。皆さん買ってあげて！（もちろん共同購入です）  
大正区・田所 壽満子さん

■楽しく拝見しました。色がついて、とっても読みやすかったです。いつもおりがとうございます。  
港区・北川 英樹さん

大正区・福光 美智子さん

■春休みで、バアバの所に遊びにきています。スリランカからです。フイズちよつとむつかしかったけど、バアバといっしょにかんがえました。日本はともさむいんです。  
大正区・ゆり、シエハーナさん

■えがお4月号、お便りを読ませて頂きました。励ましてくれてありがとうございます。主人は2月25日午後4時57分に、天国に召されました。最後は眠るように苦しむこともなく、それまでが大変でしたけど夫婦になって、この10月で39年になるころでした。心に大きな穴があきました。何時までもよくよしても主人が怒ると思います。でも、そう簡単にはあきらめられません、本人もまだまだやりたい事があつたやろつとおもいます。がんばります。  
大正区・宮田 艶子さん

■編集部の皆様編集作業おつかれ様です、生みの苦しみは大変なことですが、これからは機関紙作業がんばって下さい。又、合併おめでとうございませう。  
大正区・安藤 博幸さん

■今年は桜が遅かった分、肌寒い間中長く梅を楽しめました。香りがとても良かった気がします。  
大正区・おはるさん

■3才になる息子と10ヶ月の娘が、新婦人のリズム会に生協さんが出張で、身長、体重を測りに来てくれ毎月お世話になっていきます。予防接種や医療のことなども相談でき、とても助かっています。今回の合併でより良い医療が各地に広がっていくことを心から願っています。新機関紙も楽しみにしています。頑張ってください。  
港区・増井 恵さん

■いつも楽しみにしています。今回は

### どこ？どこ まちがいさがし

どしどしご応募お待ちしています

正解者の中から抽選で15名の方に図書カード(500円)を進呈します。

下の絵は上と7ヶ所のまちがいがあります。どこでしょう？



【応募方法】  
解答はハガキまたはFAXにてお寄せください。(イラストを切り取って、ハガキに貼ってお送りください)  
\*なおハガキの余白に解答と合わせて今号の感想やご意見、近況などもお書き添え下さい。



前号の応募総数19名で、全員正解でした。



【当選者の発表】  
当選者の発表は図書カードの発送をもってかえさせていただきます。

〒556-0024 大阪市浪速区塩草2-2-31なにわ会館3F  
大阪きづがわ医療福祉生活協同組合 編集部宛  
FAX:06-4394-8505  
5月18日  
消印有効

カラフルで色もきれいだし、書体も読みやすく、良かったと思います。これからも役に立つ情報を期待しています。  
港区・北川 楓さん

■お世話になっております。今回の合併で今までの以上の御活躍を期待しております。福祉医療を！  
港区・佐伯 三恵子さん

■3法人合併おめでとうございませう。新しい機関紙の名称は「たいよう」はいいが、もう少し暖かく過さず、すくなくらいです。お花がいっぱい咲いている所へどんどん行きたいですね。  
大正区・吉村 奈々代さん

■桜は満開となり、うれしい季節となり、なんとなくこの1年ががんばろうという気持ちになっている今日この頃です。「まちがいさがし」は脳トレにいいので今年もがんばります。  
大正区・小阪 三恵子さん

西区・かわさき ゆたかさん